

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
■学力検査: 前期 2/16(月) 17(火) 中期 3/7(月)	前期 2/3(水)・ 4(木) 中期 2/26(金)・ 29(月)	前期 2/22(月) 中期 3/16(水)	中期選抜 5教科×5段階評価×3学年分+4教科(副教科)× (評定を2倍)×5段階評価×3学年分 (75+60×2=195満点)

教育のプロ
トライさん



傾向

2013年度の入試制度変更により、京都市内の北通学圏・南通学圏が統合され、京都市・乙訓地域から選択できる学校が増えた。地域が広がったことで人気の学校は倍率が高くなり、さらに年によって偏りがあるため、志望校選びは慎重に行う必要がある。前期選抜では、面接や実技試験を課す学校もあり、専門学科は前期選抜で定員の100%を募集するため、チャンスは2月のみになった。早めの受験対策が合否の鍵を握る。

科目別対策

英 語

- 長文読解が70%を占めるため、速く正確に読む訓練がとて大切。
- リスニングの難易度は高くないため、確実に得点にしよう。
- リスニング11分を除く29分で長文2問を解くため時間配分が重要。
- 英単語や英文法の基礎問題や定型文は必ず整理しておこう。

数 学

- 図形問題は頻出單元なので、特に重点的に対策しておこう。
- 計算問題は基礎的な内容が出題されるので得点源にしよう。
- 数と式・方程式は教科書を反復練習し、計算ミスをなくそう。
- 確率分野は複雑でひねった問題が多いため、過去問で練習しよう。

国 語

- 記述問題は出ないが、小問数が多いためスピードを意識しよう。
- 古文、評論文は基本知識を問う問題が多いので確実に得点しよう。
- 評論文は、順接・逆説・説明といった接続詞がポイント。
- 多くの問題に取り組み、筆者の主張を正確につかむ練習をしよう。

理 科

- 各分野から偏りなく出題されるため、バランスよく対策しよう。
- 実験や観察の問題が重視されているので、必ず対策しておくこと。
- 実験結果から考察を書いたりグラフを書く問題も練習しておこう。
- 実験結果のみを暗記するのではなく、過程や根拠を理解すること。

社 会

- 地歴公各分野の融合問題に慣れるため、多くの問題を解くこと。
- 毎年、図表を用いた問題が出るため、特に教科書の図は要チェック。
- 図表から読み取ったうえで、論理的に答えを導くことが必要。
- 言葉だけでなく、大切な用語は意味もしっかり理解しておこう。